

大会日程

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
大会1日目 4月29日 (金)	8:30 受付開始	9:30 当事者研究とは何かー当事者から語られる主観的世界とリカバリーへの取り組みー AS1	11:30 東日本大震災がもたらしたもののIー災害から学んだことを将来に繋ぐにはー DS1	11:40, 12:20 臨床発達心理士資格説明会	12:00	13:00 子どもの生育環境と発達ー遺伝と環境の交互作用についての新しい視座ー AS2	15:30	16:00 内部神話と発達心理学のアポリア (Mythe de l' interiorité et aporie de la psychologie développementale) IL1	18:30				
		9:30 自主シンポジウム SS1	11:30 ラウンドテーブル RT1			13:30 理論と実践をつなぐ子どもの見方 BS1	15:30 自主シンポジウム SS2		16:00 原発被害者の長期的支援を考える II DS2	18:00 自主シンポジウム SS3			
		9:30 ポスター PA				13:30 ポスター PB			16:00 ラウンドテーブル RT3	18:00			
大会2日目 4月30日 (土)	8:30 受付開始	9:00 社会脳の発達とその多様性 (Diversity in the Development of the Social Brain) IL2	11:00 東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性についてー3ー被災地の心理専門職が考える、これから求められる子どもへの支援ー DS3	12:00 司法面接の基礎、応用と現在の課題 TS1	14:00 「非定型」の視座から発達進化研究のフレームワークを再考する BS2	14:30 関わりの中でここを感じるー社会的理解の諸起源 (Feeling Minds in Engagement: The origins of social understanding)ー IL3	17:00 学芸賞授賞式・会務報告会	17:10 17:40	18:00 懇親会 (レストラン・エルム)	20:00			
		9:00 自主シンポジウム SS4	11:00 ラウンドテーブル RT4	12:00 遊びの質をどう捉えるか：戸外遊びの質 CS1	14:00 自主シンポジウム SS5	14:30 公認心理師法成立後における発達心理学の専門性 BS3	16:30 自主シンポジウム SS6						
		9:00 ポスター PC		12:00 ポスター PD		14:30 ラウンドテーブル RT6	16:30						
大会3日目 5月1日 (日)	8:30 受付開始	9:30 発達研究のバイオニア・三宅和夫が遺したもの、残ったもの AS3	11:30 レジリエンスを育成するナラティブ・レッスンー員の体験からしなやかに復活する方法ー DS4	11:40 個別相談会 臨床発達心理士	13:00 自己語りと人生の時間：生涯発達の視点から CS2	15:00 学会賞受賞者小講演 SL1	15:00 自主シンポジウム SS8						
		9:30 幼児期から学齢期におけるコンサルテーションー臨床発達心理士に期待される支援ー DS5	11:30 自主シンポジウム SS7		13:00 ラウンドテーブル RT8	15:00 ポスター PF							
		9:30 ラウンドテーブル RT7	11:30 ポスター PE										

大会1日目

4月29日(金)

9:30-11:30(12:00)

1F 大講堂	DS1：東日本大震災がもたらしたもののⅠ―災害から学んだことを将来に繋ぐには―
2F N302	SS1-5：情動知性―多層アプローチからの考察―
2F N304	SS1-1：アタッチメント理論に基づく子育て支援―「安心感の輪」子育てプログラムを用いた実践を通して―
2F E206	
2F E208	SS1-4：発達障害児へのアセスメントから支援につなぐには―近年日本版が発行されたアセスメント・ツールを中心に―
2F E214	SS1-3：プロセスから考える異文化理解―異文化理解研究の実践と理論をつなぐ―
2F E215	RT1-4：乳児の道徳性発達研究の最前線
3F E307	RT1-3：空想遊びの発達と広がり―子どもたちの“ゆらぎ”に注目して―
3F E308	SS1-2：離島の制度的アロマザリングにおける大人と子どもの共生
3F E311	AS1：当事者研究とは何か―当事者から語られる主観的世界とリカバリーへの取り組み―
3F E313	RT1-1：子育て中の親における仕事と家庭の主体的調整―“母親”または“家族”イデオロギーを超えて―
3F E314	RT1-2：ラウンドテーブル「自閉症児における初期情動発達のアセスメントと支援のフレームワーク構築の試み―情動調律・情動共有・情動調整の発達と音楽活動における関係性の発達を通して―
遠友学舎	PA ポスター発表： 在席責任時間：発表番号 奇数 10：00～10：50 偶数 11：00～11：50

13:00(13:30)－15:30

AS2：子どもの生育環境と発達―遺伝と環境の交互作用についての新しい視座―
BS1：理論と実践をつなぐ子どもの見方
SS2-1：親密な関係から抜け出せない人々―青年期の恋愛関係を中心に―
RT2-5：絵本の読み合い活動から子どもの個性化を考える―臨床研究と実証的研究を結ぶ意味―
SS2-5：児童・青年の発達とメンタルヘルスに関する大規模縦断研究―情動調整方略、性別違和感、養育行動、クラスサイズとの関連から―
SS2-4：ヨーロッパの子ども自我体験―自己意識は突然に出現する！―
RT2-4：「産むこと」と「育てること」の分離は可能か―養子養親と生殖医療からの社会構想―
RT2-3：情動発達のアセスメントと支援
SS2-3：日本におけるペアレント・トレーニングの実践プログラムとその背景理論
SS2-2：保育における実践知―具体的実践の詳細を明らかにする観点と研究方法―
RT2-1：自己調節方略のライフコース (3)―比較文化的な視点での検討―
RT2-2：後期高齢期・超高齢期における幸福感和社会関係およびコミュニティ感覚との関連
PB ポスター発表： 在席責任時間：発表番号 奇数 13：30～14：20 偶数 14：30～15：20

16:00－18:00(18:30)

IL1：内部神話と発達心理学のアボリア (Mythe de l' intériorité et aporie de la psychologie développementale)
DS2：原発被害者の長期的支援を考えるⅡ
SS3-4：自閉症支援に有用なペアレント・プログラム―日本で試行されているプログラムの検討を中心に―
SS3-3：集団場面における子どもへの心理教育的支援で生じる課題と対処―認知行動療法に基づくさまざまな実践での課題から相互に学ぶ―
RT3-3：子どもにとって音楽とは何か？―発達における音楽の意味を多次的に議論する―
SS3-2：対人関係における動機づけを考える
SS3-1：ライフサイクルの関係性から死生を読み解く―死生心理学の展開(1)―
RT3-1：多文化コミュニティにおける子どもの育ち―実践からみえてきた課題―
RT3-2：自閉症の子どもの子育てに「家族の流儀」はどのように影響するのか (2)

大会2日目

4月30日(土)

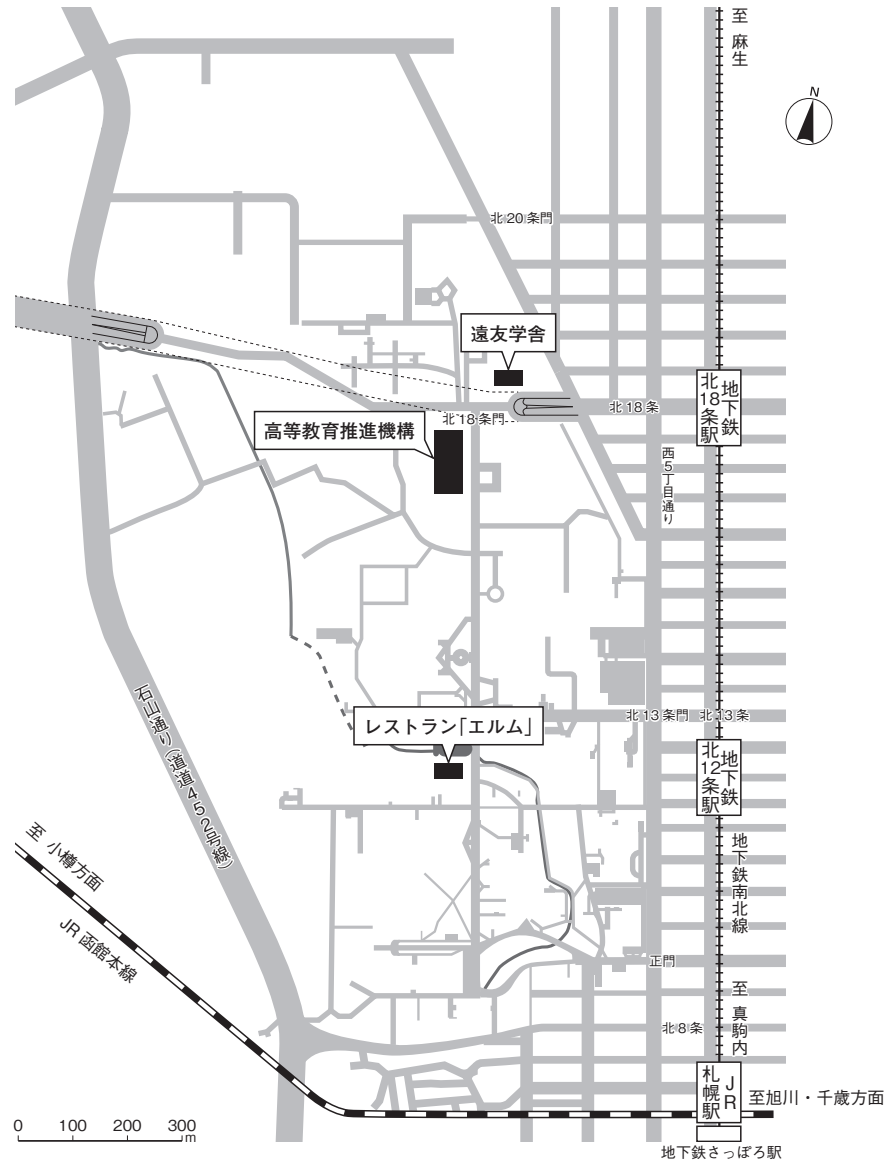
	9:00～11:00	12:00～14:00	14:30～16:30(17:00)
1F 大講堂	IL2:社会脳の発達とその多様性 (Diversity in the Development of the Social Brain)	CS1:遊びの質をどう捉えるか:戸外遊びの質	IL3:関わりの中でこころを感じる—社会的理解の諸起源 (Feeling Minds in Engagement: The origins of social understanding)—
2F N302	DS3:東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性について 3—被災地の心理専門職が考える、これから求められる子どもへの支援—	TS1:司法面接の基礎、応用と現在の課題	BS3:公認心理師法成立後における発達心理学の専門性
2F N304		BS2:「非定型」の視座から発達進化研究のフレームワークを再考する	SS6-5:変化と多様性のなかで自閉症をとらえる—SCERTS モデルの枠組みに依拠しながら—
2F E206	RT4-5:中高年期の発達と支援—“生涯現役”社会構築の条件としての「越境的交流」の効用—	RT5-5:人型ロボット・Nao、保育園児と遊ぶ	
2F E208	S4-4:世代間交流の導入による発達心理学のパラダイム転換—その可能性の検討—	SS5-3:生涯発達心理学を再考する	SS6-4:生きがい創造による高齢期の発達支援—ワンダフル・エイジング—
2F E214	SS4-3:社会・情動発達とコミュニケーション—子どもは他者との関係性をどのようにとらえるのか—		SS6-3:逸脱した若者のレジリエンスを考える—「道具であると同時に結果でもある」ような支援のあり方—
2F E215	RT4-4:思春期の発達の意義を多様な観点から検討する	RT5-4:社会性の発達に困難を抱える子どもの早期発見と親子支援—自治体の乳幼児健診の役割を中心に—	
3F E307	RT4-3:授業におけるコミュニケーションの背景と意味を考える	RT5-3:父親の役割意識および養育性の形成とソーシャルサポート	RT6-3:学習活動を介した高齢者と児童間の世代間交流—対等な立場での自主的学習活動に向けて—
3F E308	SS4-2:子育ての会話分析—おとなと子どもの「責任」はどう育つか—	SS5-2:DNA 多型・メチル化とアタッチメントとの関連性—DRD4、5-HTTLPR、SLC6A4 を指標として—	SS6-2:現代社会におけるワーク・ライフ・バランス
3F E311	SS4-1:「文化・共同体・文脈」の幻想性を穿つ ②—越境について考える—	SS5-1:社会経済的に不利な環境と子どもの発達—ヴィゴツキーの「環境」の問題を手掛かりに—	SS6-1:発達研究における倫理問題を考える
3F E313	RT4-1:保育者が“本音を語る”こととは	RT5-1:小学校教諭と考える幼児教育と小学校教育の連携・接続	RT6-1:地域社会に生きる青年と時間的展望
3F E314	RT4-2:発達支援へのナラティブアプローチ—当事者の発達違和感を聴く—	RT5-2:ライフステージを通じた支援を考える—MSPA (発達障害用の要支援度評価スケール) の概念を用いて—	RT6-2:発達における同一と非同— (same <> non-same) を考える—変化の本質をさぐり、理解するために—
遠友学舎	PC ポスター発表: 在席責任時間:発表番号 奇数 9:00～9:50 偶数 10:00～10:50	PD ポスター発表: 在席責任時間:発表番号 奇数 12:00～12:50 偶数 13:00～13:50	

大会3日目

5月1日(日)

	9:30-11:30(12:00)	13:00-15:00
1F 大講堂	AS3:発達研究のバイオニア・三宅和夫が遺したものの、残ったもの	CS2:自己語りと人生の時間:生涯発達の視点から
2F N302	DS4:レジリエンスを育成するナラティブ・レッスン—負の体験からしなやかに復活する方法—	SS8-1:青年心理学への期待と課題—青年心理学の新展開 (10)—
2F N304	DS5:幼児期から学齢期におけるコンサルテーション—臨床発達心理士に期待される支援—	SS8-2:子どものかわりから見える保育者の専門性—食・睡眠・遊び場面に焦点をあてて—
2F E206		SL1:幼児は「他者の情動はわからない」ことがわかるのか?—両義的状況手がかり課題を用いて
2F E208	SS7-3:園児と高齢者の多世代交流による子どもの包括的な社会性の向上への効果	SS8-6:発達を踏まえたコンピテンシー・ベースの教育のあり方—子どもの育ちと教師に求められる資質・能力に基づいた「教育心理学」の授業づくり—
2F E214	SS7-2:ナラティブと自己の発達	SS8-5:発達障害と自分を知ること—学齢期・青年期・成人期における多様性の理解という視点—
2F E215	RT7-4:巡回相談で読み解く子どもと保育者の物語	RT8-4:ことばと音楽と物語—知的障害児・者の音楽的活動に見られる物語性—
3F E307	RT7-3:多機関連携を事例的に検討する (2)—自閉症スペクトラム障害児と家族支援—	RT8-3:暗黙知としての育ちを支える絵本選びの視点をどう共有するか—子どもの成長を支える絵本選びを促す研修プログラムの開発と保護者への広がり—を話題に—
3F E308		SS8-4:双生児縦断研究の挑戦—遺伝と環境の発達のダイナミズム—
3F E311	SS7-1:病気やケガをめぐる大人と子どものコミュニケーション	SS8-3:共同調理・飲食体験がもつ発達支援ツールとしての効用—コミュニケーション・ツールとしての「カルピス」共同作製・飲用体験の特徴—
3F E313	RT7-1:ユーリア・エンゲストロームの拡張的学習理論を再考する—新たな翻訳出版に向けて—	RT8-1:記憶と学びの生涯発達から見る発達研究 (3)—児童・成人・高齢者の記憶—
3F E314	RT7-2:多文化保育から子どもの発達を考える	RT8-2:認知発達におけるデジタルとアナログ (4)—数量概念の発達—
遠友学舎	PE ポスター発表: 在席責任時間:発表番号 奇数 9:30~10:20 偶数 10:30~11:20	PF ポスター発表: 在席責任時間:発表番号 奇数 13:00~13:50 偶数 14:00~14:50

アクセスガイド



高等教育推進機構，遠友学舎までの交通案内

- ・地下鉄南北線 北18条駅より徒歩7分
- ・JR 札幌駅より大学正門経由で徒歩約30分
※構内の豊かな自然に触れながらおいでいただくことができます。

新千歳空港からJR 札幌駅まで
快速エアポート 約40分
バス(札幌都心行) 約1時間10分

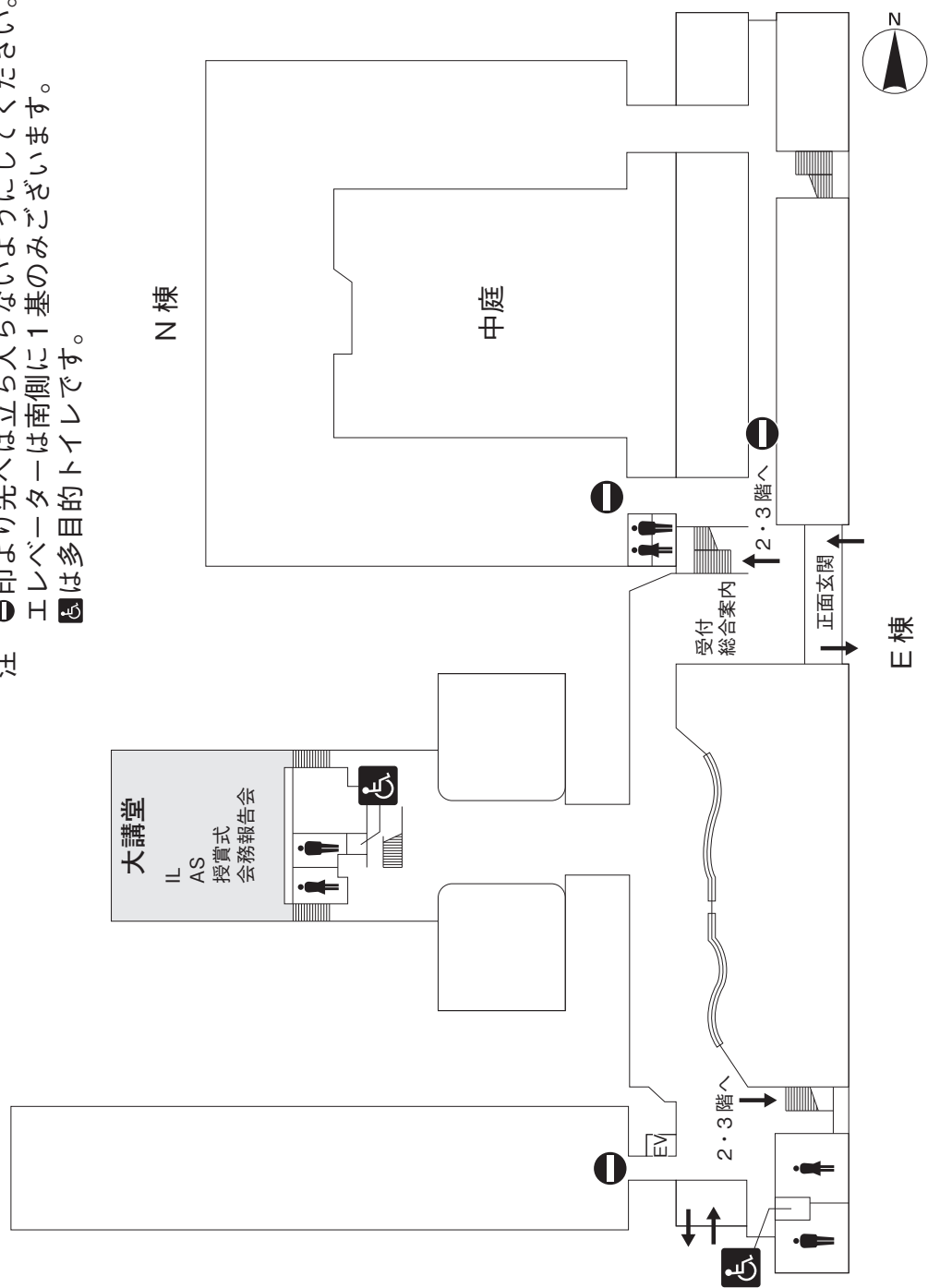
北海道大学構内には自家用車の入構ができません のでご注意ください。
タクシーでおいでいただく際には、「(エルムトンネルの脇の)北海道大学の18条門まで」とお伝えください。

会場案内図

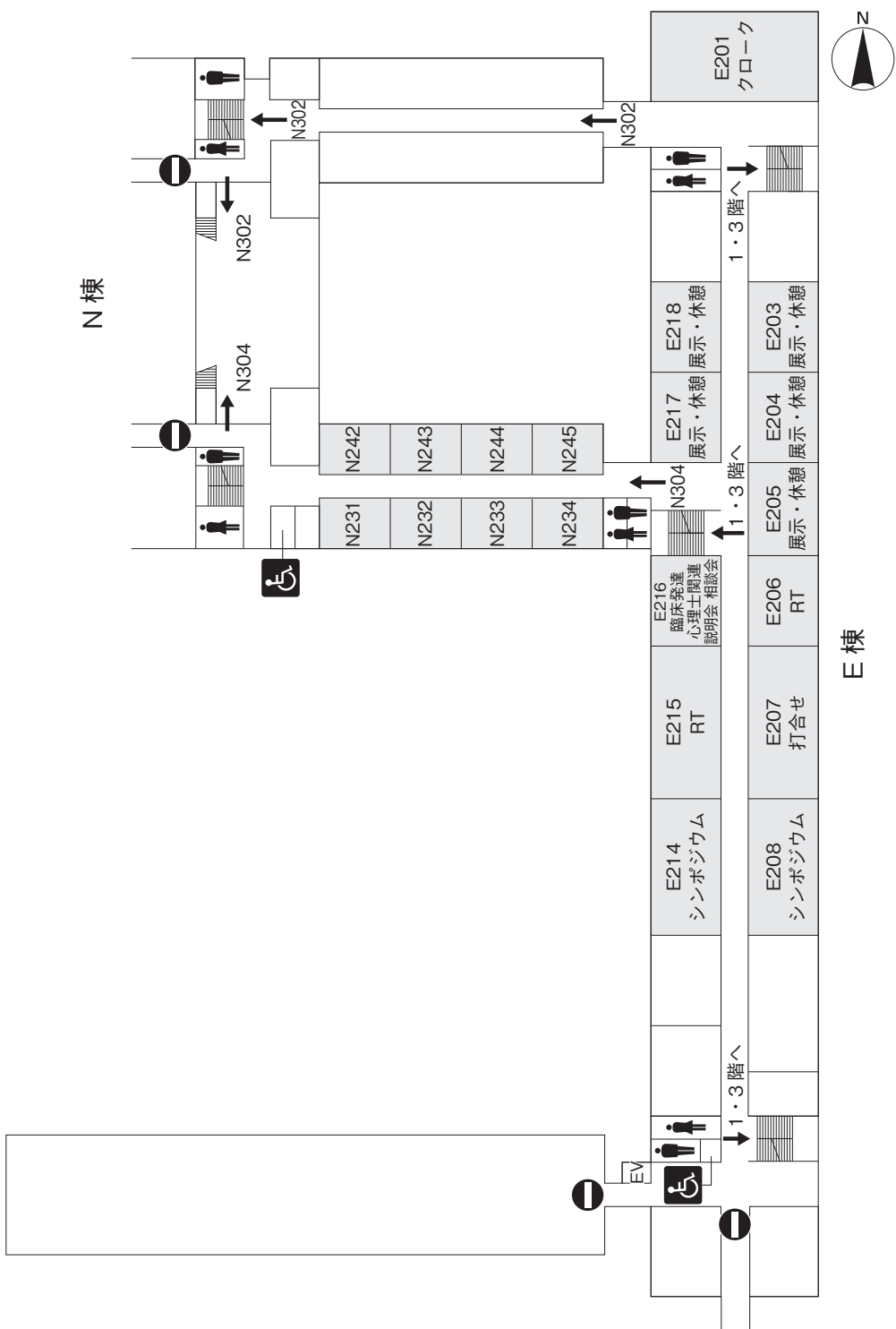


高等教育推進機構 1階

注 ❶印より先へは立ち入らないようにしてください。
エレベーターは南側に1基のみございます。
❷は多目的トイレです。



高等教育推進機構 2 階



高等教育推進機構 3階

N棟

